

日帰りハイキングコース

東武東上線沿線

埼玉県・秩父・奥秩父・比企三山

1 . 官ノ倉山 (344m)

低山ハイキングの好コース、丘陵のような小ピークだが、展望の良さ、変化のあるコースなどハイキングの要素をひとつとおり楽しませてくれる。駅から直接登り下りできるアクセスの便利さとあいまって、古くから登山者に親しまれている。早出しなくても安心して歩けるが、行程は以外と長い。小さな東武竹沢駅で下車。改札口を出て右手の地下道を抜け駅前を横切っている道を左に進む。すぐにJR八高線、国道254線を横切って、山に分け入って行く。前方に官ノ倉山に連なる稜線を見ながら道なりに歩けば、三光神社の先で集落をはずれ天王沼に着く。この先から登りにかかるので、ひと休みしていこう。すぐ山道に変わって薄暗い植林の斜面を登っていく。このコースで一番の急登だが、20～30分で登りきって稜線に出る、ここが官ノ倉峠だ。官ノ倉山山頂までは10分ほどなので、一気に登りきりしまおう。岩の混じった急な尾根を登りきると地形図の三角点がある官ノ倉山の山頂であるンチが二つあるが狭い。少し進んで下りにかかり、さらに10分ほど尾根を進んだ石尊山(セツソウ)は東南面が開け展望が良い外秩父の山、遠く赤城山、日光の山々を望み、眼下に小川町の市街が広がる小さな祠が祭られその周りが広いのでお弁当には絶好の所だ小川町へは東に下る。すぐに露岩の急斜面、鎖がかけられている落石など起こさずに慎重に下りよう。林道に出るとすぐ右手の高みに小さなお堂に祭られている北向不動がある。左側には冷たい山からの水が蕩々と流れている。林道を道なりに突き当たりを右折し笠原の集落にY字路に出たら右へとりすぐ先で車道を離れて小橋を渡り、右手の山道にいる。この辺は入り組んでいるのでよく道を確認しながら歩こう。また車道に出る。長福寺の前を過ぎT字路を右折して広い車道に合流。少し先で左手の細い道を登り八幡神社の横に、参道を進んで坂を下りれば小川町の市街で小川町駅は近い。

[コース]

池袋駅 - (AM9:10 発特急) - (小川町駅 AM10:11) - (東武竹沢駅 AM10:20) - (官ノ倉山山頂 AM11:30)
- (小川町駅 PM2:20) (小川町駅発 PM2:40) - (池袋駅着 PM3:50)

2 . 大霧山 (766.5m) のどかな牧場の草原が広がる

比企三山のひとつに数えられる大霧山は北側に高い山がないため、展望はなかなかのもの空気の澄む秋から冬にかけて、山々の展望を楽しみたい。東上線小川町駅前より、白石車庫行きのバスに乗り、橋場のバス停で下車する。靴紐を締め直し、道標に従って舗装道路を粥新田峠へ向かう。車道が大きくカーブする区間は道標通りショートカットし、「はぎの里」栗和田の集落に至る。粥新田峠への細くて急な車道からは、お目当ての大霧山がゆったりと牧場を広げて見えてくる。峠は雑木と植林の混じった素敵な峠道だ。かって秩父と小川を結ぶ峠道として人馬が往来した昔を彷彿させる。やがて舗装路に合流すると、粥新田峠だ。大霧山へは、尾根沿いに標高差200mほどの急登となる。ところどころの木の間をぐんぐん登ると背後の景色もぐんぐん広がっていく。雑木の美しい山道はいったんなだらかになるが、山頂の大展望を手に入れるには、気を抜かずに登ってしまおう。大霧山の山頂はほぼ360度の大展望が広がっている。奥武蔵はもちろんのこと、奥秩父西上州、榛

名、赤城日光と名山が勢揃いだからこの山には晴れた日に登ってほしい。

私の登った8月には山頂に大きな山百合が咲いていた。南へと尾根歩きを続けよう。直下の急な下りを過ぎると、左手に牧場が見えてくる。有刺鉄線が張られているので、注意しよう。松平と呼ばれている辺りで左にカーブするが道標がしっかりあるので安心だ。さらに下るうちに植林の薄暗い鞍部で、尾根道と交差する十字路に出るここが旧定峰峠だ左に下れば経塚のバス停に出るバスの本数は少ないのであらかじめ確認しておこうバスで小川町駅へ。

[コース]

池袋駅 - 東上線 - 小川町駅 - 白石車庫行きバス - 橋場バス停下車 - 徒歩 - 大霧山 - 徒歩 - 経塚バス停 - 小川町駅行きバス - 小川町駅

3 . 堂平山から笠山 (堂平山875 . 8m・笠山837m)

小川町駅前から白石車庫行きのバスに乗り約50分終点の白石車庫バス停で降ります。

槻川の源流に沿って歩き始めます。やがて登りもきつくなり沢も消えかかった頃視界も開けます。約1時間歩き始めでしかも登りづめちょっとバテ気味のころ白石峠に着きます。さらに15分登ったところが中継塔のある剣ヶ峰山頂です。秩父連山が一望できます。山頂から丸太の階段を下り車道へ出ます。ゆるい登りの林道を約20分大きな観測ドームが東京天文台堂平山山頂です。晴れた日に、私のホームコース「寄居カントリークラブ」でプレー中にキラキラ光って見えたのがこのドームだったのです。頂上付近は芝生になっていますのでお弁当を広げるのも絶好です。天気良ければ、都心の高層ビルまで見えます。ここからしばらく下りが続きます、下りきったところが笠山峠別名七重峠です。左へ下りると約50分で白石車庫に着きます峠から笠山へは再び登り特に頂上近くの急な登りは滑りやすいので慎重に足元注意です。笠山峠から約30分で笠山山頂です。乳房のように見えることから「乳房山」とも呼ばれています。山頂からは関東平野が眼下に広がっています。頂上の奥の方にお堂があります。笠山からは気持ちの良い雑木林の下り、やがて萩平集落に出る、ここから約20分で皆谷バス停に出ます。

[コース]

池袋駅 - (東武東上線急行1時間15分) - 小川町駅 - (バス50分) - (徒歩徒歩1時間) - 白石峠 - (徒歩40分) - 堂平山山頂 - (徒歩20分) - 七重峠 - (徒歩30分) - 笠山山頂 - (徒歩30分) - 萩平集落 - (徒歩20分) - 皆谷バス停 - (バス40分) - 小川町駅 - (東武東上線急行1時間15分) - 池袋駅

徒歩時間 合計200分(3.3時間)

4 . 顔振峠 (538m)

奥武蔵のハイキングコースとして人気の高い顔振峠を越えるコース。ここでは黒山鉱泉側から紹介したが、下山後に温泉でみちくさをしたいのなら、逆コースがよい。黒山三滝の名勝、義経伝説があつて展望の良い顔振峠など一日のハイキングコースを満喫してくれる。越生駅からのバスを黒山で降りる。黒山鉱泉館の方へ車道を歩き、さらに山道を進んでいくと黒山三滝に着く。天狗滝、女滝、男滝が現れ、しばし目を楽しませてくれる。春秋が美しい。この先は沢沿いに登っていく。大平山へ向かう尾根道を見送り、沢沿いにどんどん登りそれが急になると、やがて傘杉の車道へ飛び出る。奥武蔵グリーンラインである。傘杉峠からは南へ奥武蔵グリーンラインを歩いて顔振峠に向かう。顔振峠に近くなると足元に風影の山村が広がり緑の中に民家が点在し、のどかな風景である。顔振峠には三軒

の茶屋があり、どの茶屋からも奥武蔵の眺望がよい。そこからすこし登ると見晴台があるので登るとよい。近くに越上山が見える。顔振峠に戻り、少し奥武蔵グリーンラインを歩くと右へ吾野駅に下る分岐があり、そこを下る。これは車道が出来る前の旧道で、やがて車道に合流し、そのまま下っていくと国道299号線のバイパスにでる。左折して吾野の町並みを抜けて吾野駅へ向かう。

[コース]

池袋駅 (越生駅・東上線急行・越生線 1時間5分) ¥700 : 吾野駅 (池袋駅急行 1時間10分)

5 . 鐘撞堂山 (330m) 素朴な表情の石仏に語りかけてみては

寄居駅北口を右へ。道路にぶかったら左折。立派な道路をしばらく歩くと。国道140号線だ、横切った後、道が次第に上りになる辺りは深田谷津集落。道はほどなく大正池のほとりに出る。辺りの緑を映す、小さな水面を右に見ながら道なりに行くと民家が無くなる辺りで舗装路も林道に変わる。林道に入れば小鳥のさえずりもいっそう近く感じられる。右側に立つ指導標に従って林道と分かれ、右の山道を登る。視界が徐々に開けて寄居の町並が望まれる再び樹林に入って登りが続きT字路まで来ると頂上まであと少し。右の道をとって直線の丸太の急坂を登りきると鐘撞堂山山頂に着く。平らな山頂には東屋がありお弁当には最適だ展望もあり木の間隠れに見える山々がのどかである。円良田湖へはT字路まで戻ってそのまま正面の道を進む。急坂を下り指導標の先で左へカーブすると、やがて舗装された道に変わるあとは迷うことのない一本道が円良田湖まで続いている。湖畔の車道に左に進んですぐの指導標は少林寺への分岐点。そこから右の車道を桜並木沿いに行けば、円良田湖の穏やかな水面が広がっている再び少林寺への指導標に戻り整備された山道を登る。わずかで頂上を経て五百羅漢像の並ぶ山道から少林寺の裏手に出る帰りは正面の車道をたどると線路を越え国道140号線に行き当たる。国道を左に折れその先で上下に二分している分かれ道を右の県道に入ると、寄居市街は近い。

[コース]

池袋駅 (東武東上線急行 1時間40分) - 寄居駅 - (徒歩30分) - 大正池 - (徒歩15分) - 鐘撞堂山分岐 - (徒歩15分) - 馬騎ノ内 - (徒歩30分) - 鐘撞堂山 - (徒歩30分) - 円良田湖 - (徒歩20分) - 少林寺 - (徒歩40分) - 寄居駅 - (東武東上線急行 1時間40分) - 池袋駅

徒歩時間 合計180分 (3時間)

6 . 二本木峠・皇鈴山 (みすずやま) (679m)

のどかな牧場風景と、山頂からの見晴らしの美しさ。

小川町駅から白石車庫行きバスで打出、下車 (バス停から50m戻ったところにWC有り) 小さな丸木橋を渡って林道を横切り登りに入ります。段々畑に点在する山村風景の中を約60分、日本武尊が地面に差した二本のハシが二本の木になったという伝説がある二本木峠に着きます。この辺りは、新緑の季節が素晴らしく、特にツツジ一面に咲く5月上旬が最高です。ここを右へ。キャンプ場の横を通り、やがて眼下に長瀨町が広がってきます。ここから20分程で皇鈴山です。山頂にはあずま屋もあり、重なり合った秩父連山をじっくり楽しむことができます。さらに25分で登谷山山頂。眺望は360度ぱっちり。果てしなく広がる関東平野、秩父連山から上州の山々まで大パノラマが展開します。このコースの登りはここでほぼ終わり。ここからは下りが続きます。のどかな牧場を見ながら尾根道を釜伏峠へ。釜伏峠を右へ曲がって寄居方面へ向かいますが時間に余

裕のある方は、埼玉県で唯一の日本名水百選に選ばれた「日本水」(やまとみず)へ立ち寄ってみましょう。すぐ先の釜山神社の裏から約20分、釜伏山頂をすぎて鎖場になります。鎖場を下りきった左側です。釜伏峠から釜伏の関跡を通り景色の良い中間平緑地公園へ。さらに寄居の町を目指し下り、荒川の断崖の上にある鉢形城址へ。ここから10分で寄居駅到着です。

[コース]

東武池袋駅 - (東上線) - 小川町駅 - (バス) - 打出 - (徒歩60分) - 二本木峠 - (徒歩30分) - 皇鈴山 - (徒歩25分) - 登谷山 - (徒歩10分) - 登谷高原牧場 - (徒歩10分) - 釜伏峠 - (徒歩10分) - 釜伏の関跡 - (徒歩35分) - 中間平緑地公園 - (徒歩75分) - 鉢形城址 - (徒歩10分) - 寄居駅 - (東上線) - 東武池袋駅

徒歩時間 合計265分(4.5時間)

7. 鎌北湖・宿谷の滝

湖面に映る木々を楽しむ

東毛呂駅から最初に向かうのは「出雲伊波比神社」。神社裏側の広い参道から境内へ入ります。表側の鳥居を出て、突き当たりを右へ折れ、20m先を左に行くと八高線の踏切です。

すぐ左に見える駅が八高線茂呂駅。踏切を越えて道を真っ直ぐに進みます。踏切から6分ほど行くと二又に小さなお堂「庚申道」があり道標の「獅子ヶ滝」へ向かいます。さらに歩くこと40分。T字路に小さな社「八坂神社」があり、道標に従い「鎌北湖・一本杉」へ。

神社から5分も歩くと沢にかかる橋に到達。手前の道を右に行くと獅子ヶ滝です鎌北湖へは橋を渡った曲がり角から入ります。ここからが登りの山道。杉林の道を2分ほど行くと、また二又に。ここを左手へ進みます。標柱が無いので要注意。5分ほど登ると左上に鉄塔が見える尾根に到達。尾根の十字路を直進します。なだらかな坂道を5分ほど下ると広い道。鎌北湖はここから10分湖面に映る山々を眺めながらのお弁当はまた格別です。

宿谷の滝へは鎌北湖の第一駐車場から。右手の遊歩道を登ります。2分ほどで分岐。遊歩道の先は展望台。山道が「宿谷の滝」へのコースです。分岐から4分ほど登ると尾根。この尾根から杉と広葉樹と竹の林をぬって下ること5分。左下に林道が見えます。林道へ下りて右へ向かいます。2分ほどで宿谷の滝への遊歩道入り口です。宿谷の滝へはこの遊歩道を直進します。滝ノ下からはそのまま沢沿いの遊歩道をすすみます。滝から先の道はすべて平坦約14分歩くと「宿谷地藏尊」と「山根六角塔婆」へ。さらに13分ほどで「毛呂山総合公園」に達します。公園から「新しき村」までは約27分。村には「武者小路実篤記念美術館」のほか、無農薬の椎茸やお茶栽培場とそれらの直売所があります。新しき村から武州長瀬駅までのコースはちょっと複雑なので村内公会堂の横壁に詳しい案内看板があるので良く見てから駅に向かいましょう。

宿谷の滝へは鎌北湖の第一駐車場から。右手の遊歩道を登ります。2分ほどで分岐。遊歩道の先は展望台。山道が「宿谷の滝」へのコースです。分岐から4分ほど登ると尾根。この尾根から杉と広葉樹と竹の林をぬって下ること5分。左下に林道が見えます。林道へ下りて右へ向かいます。2分ほどで宿谷の滝への遊歩道入り口です。宿谷の滝へはこの遊歩道を直進します。滝ノ下からはそのまま沢沿いの遊歩道をすすみます。滝から先の道はすべて平坦約14分歩くと「宿谷地藏尊」と「山根六角塔婆」へ。さらに13分ほどで「毛呂山総合公園」に達します。公園から「新しき村」までは約27分。村には「武者小路実篤記念美術館」のほか、無農薬の椎茸やお茶栽培場とそれらの直売所があります。新しき村から武州長瀬駅までのコースはちょっと複雑なので村内公会堂の横壁に詳しい案内看板があるので良く見てから駅に向かいましょう。

[コース]

池袋駅-坂戸駅-(東武越生線)-東毛呂駅-(徒歩)-武州長瀬駅-池袋駅

以上